

初出一覧

序論 枕詞と被枕詞の関係

「枕詞・被枕詞の関係分類の試み」(稲岡耕三編『別冊国文学 万葉集事典』(学燈社)「枕詞・被枕詞事典」所収、平成五年八月)に基づく。

第一章 方法としての枕詞の出発―人麻呂における枕詞の方法―

「修辭としての枕詞―柿本人麻呂の方法―」(萬葉学会「萬葉」第百六十七号、平成十年十一月)に基づく。

第二章 方法の継承と反省―萬葉第三期の歌人における枕詞の表現―

(口頭発表)「坂上郎女の枕詞の性格―有縁性と表象性の間―」(筑波大学国語国文学会、筑波大学、平成十年九月)に基づく。

第三章 方法の極―家持における枕詞の方法―

「家持における枕詞の方法」(萬葉学会「萬葉」第百五十三号、平成七年三月)に基づく。

第四章 枕詞の行方―平安朝における枕詞の変容―
(口頭発表)「枕詞の変容―萬葉集から王朝和歌へ―」(萬葉学会有志研究会、東京成徳短期大学、平成十年六月)に基づく。

*なお、本論文の基礎資料として、「上代被枕詞索引稿」を作成した。

「上代被枕詞索引稿」(上)(下)

奈良女子大学「叙説」第十六号(平成元年十月)および第十七号(平成二年十月)。